



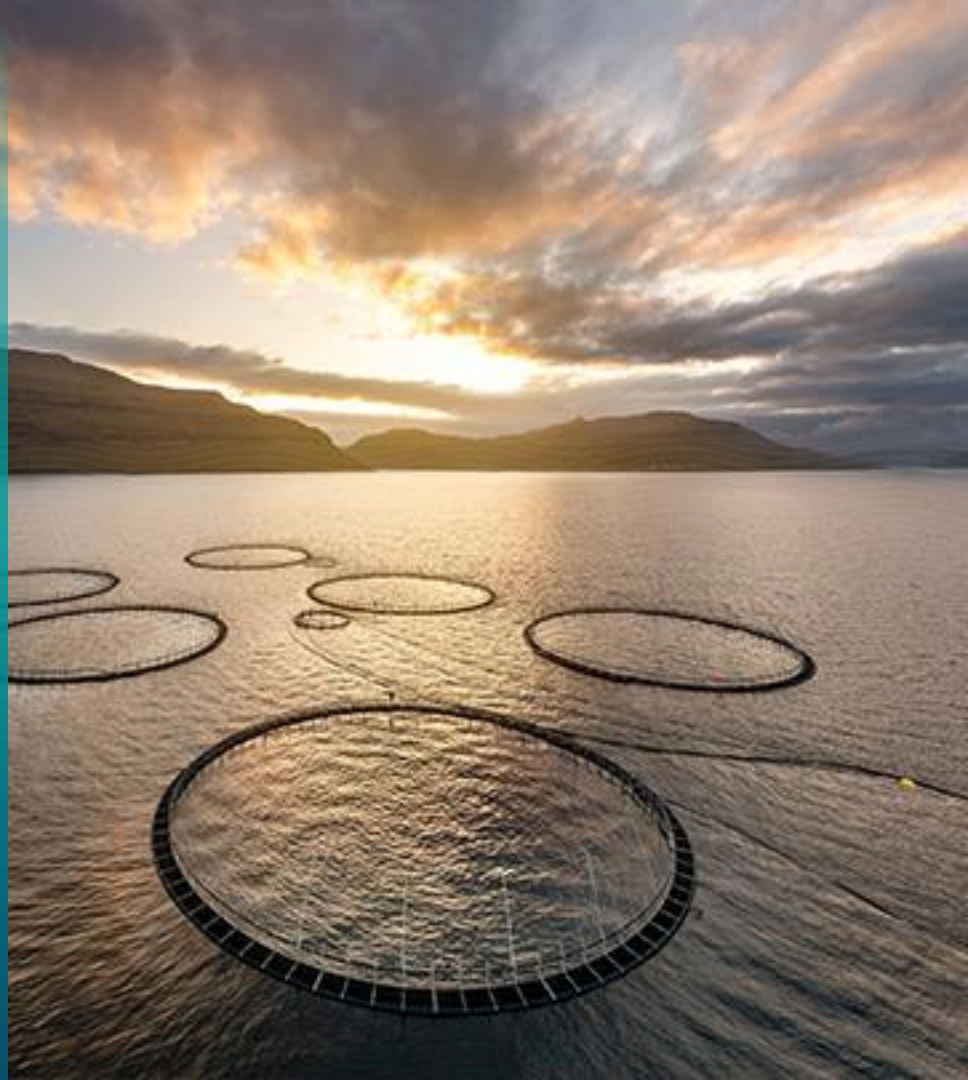
詳細

2.4 外来魚種と地域固有の生物 多様性

利害関係者とのコンサルテーション 2024年4月



Setting The
Standard for
Seafood



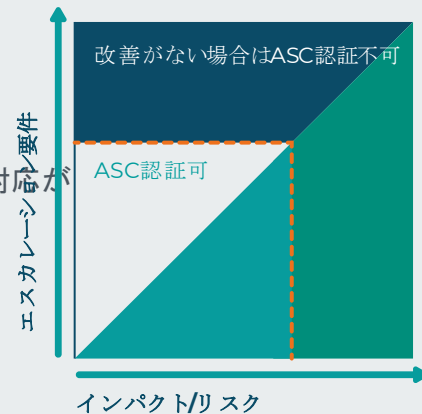
水産養殖管理協議会（ASC）の課題と取り組み

課題

- 水産養殖活動を通じて本来の生息地から捕獲され、新しい（非在来の）生息地に持ち込まれた動物は外来魚種とみなされます。例として、アジアで養殖されるニルティラピアやチリで養殖されるアトランティックサーモンなどが挙げられます。
- また、ノルウェーで養殖されるアトランティックサーモンなど、本来の生息地内の魚種や系統もこれに含まれます。

ASCの取り組み

- ASC養殖場基準は、独立した科学的分類法を用いて、外来魚種による有害性レベルを決定します。
- 有害性が高いほど基準要件および不適合時の是正対応がより厳格に



詳細：外来魚種

すべての養殖場がすべきこと

- 遺伝子改変魚種の養殖を行わない
- 少なくとも、魚種、そのライフステージ、および養殖場が稼働している環境条件に適した封じ込め構造など、予防的な逃亡魚防止策の実施
- 養殖施設外に逃亡魚がないかを定期的にチェックし、発見した場合は捕獲した魚を除去し、魚の荷役や移動中の逃亡リスクを軽減する措置を講じる
- EICAT分類を用いて、その魚種と養殖場が稼働している領域のリスクを審査し、リスクレベルに応じて追加要件を実装 - 詳細は次のスライドを参照
- 水産養殖管理協議会のデータ提出手順に従って、総逃亡数を毎年報告
- ASC養殖場基準に定められた逃亡制限数メトリックを超過した場合は、検出後7暦日以内に認証機関（CAB）および水産養殖管理協議会に通知

詳細：外来魚種

最も害の少ないもの：最も緩やかな要件

最も害の多いもの：最も厳しい要件

EICAT分類 – データの欠陥 (DD)、最小限の懸念 (MC)、軽微 (MN)

- 全体的な逃亡魚管理と養殖場レベルで観察された逃亡リスクの認識を改善することにより、在来の生物多様性に対する軽微な危害の可能性を減らします。
- 総逃亡数を超えないことが条件です。

EICAT分類 – 中程度 (MO)

- 逃亡魚の正確な計数、並びに、観察された逃亡リスクに対応する逃亡防止策の実施が要求されます。
- 総逃亡数の超過は、重大な違反事項です。繰り返される場合は、認証が取り消されます。

EICAT分類 – 大 (MR)、重大 (MV)

- 逃亡魚の正確な計数、並びに、観察された逃亡リスクに対応する逃亡防止策の実施が要求されます。
- 総逃亡数を超過すると、認証が取り消されます。
- 逃亡魚防止システムの構築、あるいは不妊種や三倍体動物の培養へ移行する行程が、ASC養殖場基準の発効日から6年以内に要求されます。

現在の魚種基準の改善

ASC養殖場基準に準拠し、外来魚種と在来の生物多様性をより厳格に指定

既存の魚種基準

- 外来魚種の有害性評価なし
- メトリック制限がない、または一貫性がない
- 有害レベルが異なっても要件が区別されない
- 不適合に対する特定の対応は定義されていない

新しいASC養殖場基準

- 魚種の有害性に関する独立したEICAT評価
- すべての魚種の逃亡制限：サケ**300匹**、その他**6%**
- 影響のリスクに基づいた不適合に対する要件と結果のエスカレーション



利点

水産養殖管理協議会がこのアプローチを取る理由

環境や動物への影響を制限することで、責任ある養殖を促進する



養殖場実践の指針となる科学的根拠



より信頼性の高い方法論



在来種の生物多様性への影響が
証明済みの魚種に焦点を当てる



参加するには

Eメール : consultation@asc-aqua.org



資料は英語、スペイン語、ベトナム語、フランス語、ドイツ語、トルコ語、日本語、韓国語でご利用になれます



詳細なトピックのスライドは次のとおりです

[2.4 外来魚種](#)

[2.6 水質](#)

[2.10 エネルギーの使用とGHG排出量](#)

[2.14 育成前](#)

[3.9 労働時間](#)

[4.3-4.4 魚の健康と福祉 - 締め方](#)



水産養殖管理協議会 (ASC) 養殖場基準スライド ([リンク](#)) 

水産養殖管理協議会 (ASC) 養殖場基準全草稿 ([リンク](#)) 

アンケート ([リンク](#))



Setting The
Standard for
Seafood



指標

指標2.4.1	UoCは、 遺伝子導入動物 を仕入れてはならない。
指標2.4.2	UoCは、少なくとも以下を含む予防的 逃亡魚 防止策を実施しなければならない。 <ol style="list-style-type: none">1. 養殖における魚種およびライフステージ、そして、養殖場が稼働している環境条件に適した封じ込め構造の設置、検査、および保守2. 養殖施設外の逃亡魚の定期的確認、捕獲魚の除去3. UoC内での魚の荷役および移動中の逃亡リスクを軽減するための措置
指標2.4.3	UoCは、その魚種および養殖場が稼働している領域のEICAT分類および対応する信頼レベルを決定すること（別紙6の表1を参照）。
指標2.4.4	指標対象範囲：EICAT分類DD/MC/MN、MO、MR/MVの養殖場 UoCは、EICAT分類に関連する追加要件を実装すること（関連指標2.4.7から2.4.32は、別紙6の表3、4、および5を参照）。

指標


指標2.4.4	<p>指標対象範囲：EICAT分類DD/MC/MN、MO、MR/MVの養殖場</p> <p>UoCは、EICAT分類に関連する追加要件を実装すること（関連指標2.4.7から2.4.32は、別紙6の表3、4、および5を参照）。</p>
指標2.4.5	<p>指標対象範囲：EICAT分類のMO、MR/MV</p> <p>制限数メトリックを超過した場合、UoCは、検出後7暦日以内に認証機関（CAB）およびASCに通知しなければならない。</p>
指標2.4.6	 <p>UoCは、ASCのデータ提出手順に従って、総逃亡数を毎年報告しなければならない。</p>
指標2.4.33	<p>UoCは、サプライヤーが以下の場合、開放生け簀の養殖で生産されたサケのスマルトのみを仕入れるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 養殖されているものと同じ魚種の土地固有のサケ類が存在する地域で操業している、そして2. ASC養殖場基準の認証を受けている

表 3 : 追加要件 : データの欠陥 (DD) 、最小限の懸念 (MC) 、または軽微 (MN) のリスク

領域リスク :	データの欠陥 (DD)	最小限の懸念 (MC) *	軽微 (MN) *	保証対応 :
<p>領域リスクレベルが最小限/軽微。または領域リスクレベルが中程度、信頼スコア<0.2 (リスクが想定できないレベル)。エコリージョンのリスクレベルが最小限/軽微よりも高いことが確認されている場合は、これに従う。</p> <p><u>最小限/軽微分類からの免除 :</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 影響メカニズムがハイブリダイゼーションである場合、不妊/三倍体ストックを培養するUoCは追加要件から免除される。 養殖システムが逃亡の成功を妨げている (つまり、魚が生き延びている) ことを実証できるUoCは、追加要件から免除される。 				
<p>指標2.4.7**</p>	<p>UoCは、以下に示すように、生産サイクルまたは年 (いずれか条件が厳しい方) ごとの総逃亡数⁷¹を超えてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> サケ : 300匹 その他の魚種 : 6% 			<p>定期的な不適合の分類</p>
<p>指標2.4.8**</p>	<p>UoCは、次のように定義される集団逃亡事態を6年に1回以上起こしてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> サケ : >5,000匹 その他の魚種 : 総逃亡数 > 6% 			

表3 (続き)

領域リスク：	データの欠陥 (DD)	最小限の懸念 (MC) *	軽微 (MN) *	保証対応：
指標2.4.9**	UoCは、以下に従って、上級管理メンバーの承認を得て、敷地固有の荷役および封じ込めリスクの審査を行うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 表6にあるリスク管理マトリックスの全ステップを組み込む 表7にある封じ込めを保証する全取り扱い手順とパラメーターを組み込む 			定期的な不適合の分類
指標2.4.10**	UoCは、荷役過失による逃亡魚を最小限に抑えるため、すべての関連スタッフに対して荷役手順の訓練を行うものとする。			
指標2.4.11**	UoCは、荷役/封じ込めの事故およびニアミスを記録しなければならない。			
指標2.4.12**	指標対象範囲：ティラピア生産者のみ UoCは、すべて雄または不妊の魚を養殖しなければならない。			

表4：追加要件：中程度（MO）のリスク。

領域リスク：	程度（MO）のリスク	保証対応：
<p>*領域リスク レベルが最小限/軽微、または中程度、信頼スコア<0.2（リスクが想定できないレベル）。エコリージョンのリスクレベルが中程度より高いことが確認された場合は、これに従うものとする。</p> <p>**中程度の分類の例外:</p> <ul style="list-style-type: none"> 影響メカニズムがハイブリダイゼーションである場合、不妊/三倍体ストックを培養するUoCは追加要件から免除される。 養殖システムが逃亡の成功を妨げている（つまり、魚が生き延びている）ことを実証できるUoCは、追加要件から免除される。 		
<p>指標2.4.13**</p>	<p>UoCは、以下に示すように、生産サイクルまたは年（いずれか条件が厳しい方）ごとの総逃亡数¹⁷²を超えてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> サケ：300匹 その他の魚種：6% 	<p>規定の不適合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 重大な不遵守 同じまたは連続した認証サイクルで主要な不遵守が繰り返される場合 – 認証の取り消し
<p>指標2.4.14**</p>	<p>UoCは、次のように定義される集団逃亡事態を6年に1回以上起こしてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> サケ：>5,000匹 その他の魚種：総逃亡数 > 6% 	

表4 (続き)

領域リスク：	程度 (MO) のリスク	保証対応：
指標 2.4.15**	UoCは少なくとも98%の計測精度を保つこと。	規定の不適合： <ul style="list-style-type: none"> • 重大な不遵守
指標 2.4.16**	UoCは、以下に従って、上級管理メンバーの承認を得て、敷地固有の荷役および封じ込めリスクの審査を行うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> • 表6にあるリスク管理マトリックスの全ステップを組み込む • 表7にある封じ込めを保証する全取り扱い手順とパラメーターを組み込む 	
指標 2.4.17**	UoCは、次の状況で措置を講じるものとする。 <ul style="list-style-type: none"> • 予防策リスクが低いと判断された • 中または高と判断されたリスクに対する荷役プロセス/封じ込めシステムの変更、および • 逃亡が発生した場合の緊急措置。 	
指標 2.4.18**	UoCは、以下の頻度でリスク審査（指標3.5.2）とそれぞれの対策（指標3.5.3）を見直し、必要に応じて修正しなければならない。 <ul style="list-style-type: none"> • 新しい養殖活動を始める前 • 従業員からの主な問題に関するフィードバック（指標3.1.3、3.12.1、3.12.8）を受けた後 • 事故やニアミスの後、および • 毎年 	

表4 (続き)

領域リスク：	程度 (MO) のリスク	保証対応：
指標2.4.19**	UoCは、荷役過失による逃亡魚を最小限に抑えるため、すべての関連スタッフに対して荷役手順の訓練を行うものとする。	規定の不適合： <ul style="list-style-type: none"> • 重大な不遵守
指標2.4.20**	UoCは、荷役/封じ込めの事故およびニアミスを記録しなければならない。	
指標2.4.21**	UoCは、商業的に利用可能な場合には、単一性の養殖を行うものとする。ティラピア生産者の場合、UoCは、すべて雄または不妊の魚を養殖しなければならない。	
指標2.4.22**	UoCは、関連する魚種について、養殖内産卵を防止しなければならない。	

表5：リスクが大きい（MR）または重大（MV）とランク付けされた地域で魚種を生産する生産者に対する追加要件。

領域リスク：	大（MR）/重大（MV）	保証対応：
<p>**大（MR）または重大（MV）の分類での例外:</p> <ul style="list-style-type: none"> •影響メカニズムがハイブリダイゼーションである場合、不妊/三倍体ストックを培養するUoCは追加要件から免除される。 •養殖システムが逃亡の成功を妨げている（つまり、魚が生き延びている）ことを実証できるUoCは、追加要件から免除される。 		
指標2.4.23**	<p>UoCは、以下に示すように、生産サイクルまたは年（いずれか条件が厳しい方）ごとの総逃亡数¹⁷³を超えてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> •サケ：300匹 •その他の魚種：6% 	<p>規定の不適合：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認証取り消し

表5 (続き)

領域リスク：	大 (MR) / 重大 (MV)	保証対応：
指標2.4.24**	UoCは少なくとも98%の計測精度を保つこと。	規定の不適合： • 重大な不遵守
指標2.4.25**	UoCは、以下に従って、上級管理メンバーの承認を得て、敷地固有の荷役および封じ込めリスクの審査を行うものとする。 •表6にあるリスク管理マトリックスの全ステップを組み込む •表7にある封じ込めを保証する全取り扱い手順とパラメーターを組み込む	
指標2.4.26**	UoCは、次の状況で措置を講じるものとする。 •予防策リスクが低いと判断された •リスクが中または高と判断されたリスクに対する荷役プロセス/封じ込めシステムの変更、および •逃亡が発生した場合の緊急措置。	
指標2.4.27**	UoCは、以下の頻度でリスク審査（指標3.5.2）とそれぞれの対策（指標3.5.3）を見直し、必要に応じて修正しなければならない。 •新しい養殖活動を始める前 •従業員からの主な問題に関するフィードバック（指標3.1.3、3.12.1、3.12.8）を受けた後 •事故やニアミスの後、および •毎年	

表5（続き）

領域リスク：	大（MR）/重大（MV）	保証対応：
指標2.4.28**	UoCは、荷役過失による逃亡魚を最小限に抑えるため、すべての関連スタッフに対して荷役手順の訓練を行うものとする。	規定の不適合： <ul style="list-style-type: none"> • 重大な不遵守
指標2.4.29**	UoCは、荷役/封じ込めの事故およびニアミスを記録しなければならない。	
指標2.4.30**	UoCは、商業的に利用可能な場合には、単一性の養殖を行うものとする。ティラピア生産者の場合、UoCは、すべて雄または不妊の魚を養殖しなければならない。	
指標2.4.31**	UoCは、関連する魚種について、養殖内産卵を防止しなければならない。	
指標2.4.32**	UoCは、ASC養殖場基準の発効日から6年以内に、三倍体またはその他の不妊ストックを使用するか、あるいは逃亡防止システムを構築して生産を行うものとする。	